

九州半導体人材育成等コンソーシアム (第 6 回会合)

～ 人材ワーキンググループ° (WG) 報告～

1. 2024年度活動報告
2. 2025年度の活動方針案

2025年3月25日
＜ 人材育成ワーキンググループ° ＞
座長
安浦 寛人



報告・説明事項

1. 2024年度人材育成WG活動報告

- ① ダイバーシティ環境整備状況調査
- ② 産学連携ガイドブック、半導体ロールモデルブック
- ③ 産学ミートアップ事業
- ④ 産学連携出前講座（半導体横断的教育）
- ⑤ 教員向け研修会
- ⑥ ベトナムスタディミッション（事務局から報告）

2. 2025年度活動計画（案）

2024年度 九州半導体人材育成等コンソーシアム 人材WG構成機関

人材WG：座長 安浦 寛人（人材WG構成メンバー／産学官金120機関）

属性	会社・団体名				
産業機関	株式会社アウトソーシング	50	大分工業高等専門学校	85	福岡県
	旭化成エレクトロニクス株式会社	51	大分大学	86	佐賀県
	旭化成マイクロテクノロジー株式会社	52	開新高等学校	87	長崎県
	株式会社アスカインデックス	53	鹿児島大学	88	熊本県
	アドバンスソフト株式会社	54	学校法人岩崎学園	89	大分県
	株式会社アムコー・テクノロジー・ジャパン	55	学校法人近畿大学 産業理工学部（福岡キャンパス）	90	宮崎県
	株式会社アルプス物流	56	学校法人西日本工業大学	91	鹿児島県
	株式会社ウイルテック	57	学校法人福岡工業大学	92	福岡市
	エア・ウォーター株式会社	58	学校法人早稲田大学	93	北九州市
	株式会社エイジェック	59	北九州工業高等専門学校	94	熊本市
	エスアイユー株式会社	60	九州工業大学	95	国土交通省九州地方整備局
	SMC株式会社	61	九州産業大学	96	文部科学省
	九州電子株式会社	62	九州職業能力開発大学校	97	株式会社熊本銀行
	計測エンジニアリングシステム株式会社	63	九州大学	98	株式会社佐賀銀行
	興研株式会社	64	熊本県立技術短期大学校	99	株式会社十八親和銀行
	株式会社SUMCO	65	熊本県立熊本工業高等学校	100	株式会社日本政策投資銀行九州支店
	株式会社ジューダット	66	学校法人開新学園 熊本工業専門学校	101	株式会社肥後銀行
	Japan Advanced Semiconductor Manufacturing株式会社	67	教育機関 熊本高等専門学校	102	一般社団法人九州経済連合会
	株式会社ジャパンセミコンダクター	68	熊本大学	103	一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）
	JSR株式会社	69	久留米工業大学	104	一般財団法人九州オープンイノベーションセンター
	株式会社スタッフサービス	70	国立高等専門学校機構	105	大分県L S Iクラスター形成推進会議
	ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社	71	佐賀大学	106	かごしまモノづくり推進協議会
	株式会社タケシタ	72	佐世保工業高等専門学校	107	株式会社価値総合研究所
	田中電子工業株式会社	73	崇城大学	108	公益財団法人北九州産業学術推進機構（FAIS）
	株式会社テラプローブ	74	第一工科大学	109	公益財団法人九州経済調査協会
	株式会社デンソー	75	東海大学	110	公益財団法人九州先端科学技術研究所
	東京エレクトロン九州株式会社	76	長崎県立長崎工業高等学校	111	協力機関 公益財団法人佐賀県産業振興機構
	東芝情報システム株式会社	77	長崎大学	112	公益財団法人福岡県産業・科学技術振興財団（ふくおかIST）
	東洋ワーク株式会社	78	福岡大学 半導体実装研究所	113	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	株式会社西村ケミテック	79	福岡県立八女工業高等学校	114	SEMIジャパン
	日研トータルソーシング株式会社	80	熊本県立水俣高等学校	115	公益社団法人全国学習塾協会 九州・沖縄支部
	日総工産株式会社	81	都城工業高等専門学校	116	独立行政法人日本貿易振興機構 福岡貿易情報センター
	日本シノプシス合同会社	82	宮崎大学	117	東北経済産業局
	株式会社日本マイクロニクス	83	柳商学園柳川高等学校	118	関東経済産業局
	株式会社日出ハイテック	84	立命館アジア太平洋大学	119	中国経済産業局
	平井精密工業株式会社			120	沖縄総合事務局
	株式会社平山GL				
	フェニテックセミコンダクター株式会社				
	フジアルテ株式会社				
	マイクロカット株式会社				
	株式会社マイスティア				
	株式会社マイナビ				
	株式会社安川電機				
	UTエイム株式会社				
	横河ソリューションサービス株式会社				
	吉川工業株式会社				
	ラムリサーチ合同会社				
	リクルーティング・パートナーズ株式会社				
	株式会社ワールドインテック				

2024年度 九州半導体人材育成等コンソーシアム
ダイバーシティ環境整備状況調査・半導体業界ロールモデル調査・発信事業
サブWG構成機関（順不同）

No	団体名
1	鹿児島大学
2	九州大学
3	長崎県立長崎工業高校
4	長崎大学
5	都城工業高等専門学校
6	イサハヤ電子株式会社
7	エスティケイテクノロジー株式会社
8	株式会社くまさんメディクス
9	株式会社マイナビ
10	三菱電機株式会社 パワーデバイス製作所
11	株式会社ワールドインテック

2024年度人材育成WG 事業スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
コンソーシアム 全体会合							第 5 回 10月4日					第 6 回 3月25日
人材WG全体会合 （産学連携）			WG① 6月28日			WG② 9月11日						WG③ 3月19日
			出前講義実施									
				教員向け研修会			●産学ミートアップ 南部開催10/30				●産学ミートアップ 北部開催2/14	
				産学連携ガイドブック作成								
ダイバーシティ 推進・ロールモ デル発信サブWG				WG① 7月30日		WG② 9月24日					WG③ 2月7日	
					ダイバーシティ環境整備状況調査（産学向け） ・調査項目検討 ・調査表送付 ・調査表作成 ・調査表回収 ・調査分析 ・事例インタビュー							提言
					ロールモデルインタビュー調査 ・インタビュー候補選定 ・インタビュー内容検討、実施							ロールモデル発信コンテンツ作成

取組	アウトプット	アウトカム
教員向け研修会	高校～大学の文系・理科教員の参加	教員の半導体産業に対する理解度向上 人材の半導体業界に対する関心向上
半導体横断的教育（出前講義）	高校～大学、工学部以外の、理学部、文系学生も対象 に半導体の横断的教育カリキュラムの設計・実施	半導体び設計から製品・サービスまでの製造・開発プ ロセスを横断的に捉えることが出来る人材の育成
産学連携・学学連携手法調査	産学連携ガイドブック作成	半導体教育における産学・学学連携の促進 （構成機関同士の自発的な連携）
半導体業界（産学）におけるダイバーシ ティ推進状況実態調査	多様な人材が活躍できる環境整備状況の調査 ダイバーシティ推進取り組み事例の収集	半導体業界の人材需給ギャップ解消 （新卒のみではない多様な人材確保・活躍促進）
半導体業界（産学）におけるロールモデ ル・キャリアパスブックの製作・発信	半導体業界において活躍する多様な人材のロールモ デルやキャリアパスをとりまとめ発信 （中学生～中途採用の方まで多くの人材向け）	半導体業界の人材需給ギャップ解消 （学びと仕事の繋がりへの理解を深め、半導体業界で 活躍する多様な人材への理解を深める）
産学ミートアップ事業（北部・南部）	・半導体に係る産学（学生含）の相互理解促進 ・新事業となりうるアイデアの創出支援	半導体業界について実感値を伴った理解促進 教育における産学連携の促進 就職を前提とする前の産学の出会いの場づくり

半導体業界におけるダイバーシティ推進状況調査結果概要

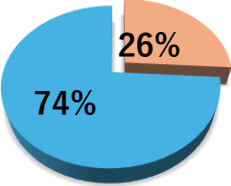
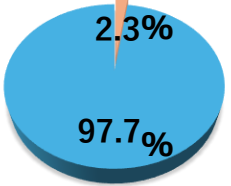
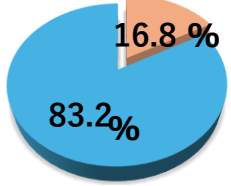
調査対象	SIIQ会員、九州半導体人材育成等 コンソーシアム構成機関等(307社・団体)
調査期間	2024/9/10～2024/11/15

課題

- ダイバーシティ推進における、効果的な取り組みに関する情報の不足
- 九州域外の人材、若年層、保護者等に対する半導体産業の魅力発信不足
- 他産業からの流入人材への入社後の教育体制の不足
- 海外人材採用に関する情報（人材のスキル、キャリア形成への希望、採用手続き等）や人材との接点不足

コンソーシアムで推進すべき取り組み（提案）

- ダイバーシティ推進の好事例の収集・共有と積極的な発信
- 半導体業界で働く魅力、九州で働く魅力についての九州域内外への発信（海外含む）
- 他産業からの流入人材も受講可能な半導体産業教育カリキュラム、仕組みの整備
- 海外人材を含む、人材との接点形成や採用プロセスについての情報集約等

	女性	海外人材	他産業からの流入人材
企業全体に占める割合	 ■女性 ■男性	 ■海外人材 ■国内人材	 ■他産業からの流入人材 ■既存社員
現状の課題	・女性が働きやすい環境整備や、積極的な採用にも取り組んでいるが、現段階での女性比率は26%、特に管理職における女性比率は6%にとどまっている。 ・背景としては、そもそもの理系女性の少なさ、ライフイベントに柔軟に対応した働き方・評価精度を整備できていないこと、制度は整っているものの運用に課題があること等が挙げられる。 ・制度や取り組みについての十分な情報収集や人材への発信ができていないことも課題。	・奨学金による支援や就労ビザ取得のサポートなど、各種支援策を含め採用に積極的な企業は多いが、調査時点での海外人材比率は全体の2.3%と、いまだに低い。 ・背景としては、特に言語やコミュニケーションの壁、このほか技術流出の懸念、企業と海外人材を繋ぐ接点の不足、採用時に必要となる在留資格取得や雇用手続きの煩雑さなどが挙げられる。 ・採用にあたっての海外人材の情報（人材のスキル、パーソナリティ、キャリア形成への希望等）を十分に得る機会が無い事等も課題。	・採用については積極的であり、社内教育やリスキングの取組を強化する企業なども存在しているが、実際他産業からの流入人材の比率は16.8%にとどまっている。 ・背景としては、各企業が求めるレベルの人材の不足、受け入れ後の教育体制の不足、業務内容のミスマッチによる早期離職といった定着率の低さ、UIターン等で域外の人材を呼び込む施策の不足が課題。
課題解決に向けた取り組み事例	・若年層のうちからの働きかけを行い、理工系に進学する女性を増やす ・進路に影響を与える教員、親世代に向けた半導体業界の魅力発信 ・能力開発や性別意識改革研修や勉強会の開催 ・女性活躍に関するKPIの設定や女性活躍推進委員会の設置と推進 ・制度利用推進に関する課題の整理と改善 ・性別によらない業務改革、働き方改革 ～参考事例～ ・対女性のための取組のみならず、男性育休の取得を奨励し、育児に責任を持つ文化を醸成。 ・管理職向けセミナーの開催を通じた意識醸成。 ・手挙げ方式で管理職登用を行い、手挙げした人材への教育と環境整備も細やかに制度設計している。	・海外人材に対する日本語教育プログラムの実施、通訳や社内のサポート体制・英語マニュアル等の整備 ・技術流出対策としての社内業務の切り分け、情報セキュリティに関する社内ポリシーの見直し ・海外人材採用についての情報交換の場、海外人材採用時に必要となる在留資格取得や雇用手続き等を学ぶ場の提供 ・海外留学生の企業・機関見学の受け入れ ・コンソーシアムとしての行政への海外人材採用に係る簡素化の働きかけ ～参考事例～ ・文化の違いが少ない国、日本に関心の高い国とまずは連携を開始している。 ・社内メンターやサークルを設置する、地域のお祭りに参加するなど海外人材が企業、地域に馴染むことが出来る様環境整備をしている。	・リファラル採用（紹介や推薦による採用）の強化 ・中途入社者向け社内教育等のリスキングの仕組み作り ・自己啓発や資格取得に対する支援・報奨金制度などの、学びに対する費用負担 ・求める業務内容やスキルの明確化、入社前の職場見学等のミスマッチを防ぐための仕組みの構築 ・域外の人材を呼び込むための九州で働く魅力の発信 ・移住を想定した住環境等も含めたインフラ整備と情報発信 ・半導体産業にスポットを当てた中途採用イベント等の実施 ～参考事例～ ・面接の際に「業務の大変さはあるが学びと成長がある」という点を率直に伝えることで入社後のミスマッチを減らしている。

人材育成WGの取り組み②（2024年度新規実施）

|産学連携ガイドブック：2022年度からコンソ構成機関を中心に取り組んできた教育における産学連携のポイントと事例をまとめ、さらなる産学連携促進に向けて広く発信 すべく「産学連携ガイドブック」を作成。教育における効果的な産学連携促進につなげる。

|半導体ロールモデルブック：若手～中堅社員（男女）、研究者、海外人材等、半導体業界（産学）で活躍するロールモデルを調査し、半導体業界でのキャリアイメージをロールモデルブックとして作成。職種、業種、業務内容、歩んできたキャリア、半導体業界を選んだ理由、やりがい等、学生の進路選択にあたって半導体業界の魅力発信に繋がるインタビューを掲載。

産学連携ガイドブック

未来のデジタル社会を支える**半導体**と一緒に楽しく学ぼう！

やさしい 人材育成 ガイドブック

九州における産学連携51事例紹介！

「半導体」を通じて九州に誇りをもちたい！半導体コーディネーター ふうくん

九州半導体・デジタルイノベーション協議会 事務局 JIC（九州）

～産学連携～

～事例紹介～

～実施段階～

～実施段階におけるポイント～

半導体ロールモデルブック

半導体ロールモデルブック

未来をつくるあなたへ九州の半導体業界で見つけるかがやく自分

～ロールモデル～

～キャリア～

～事例紹介～

～実施段階～

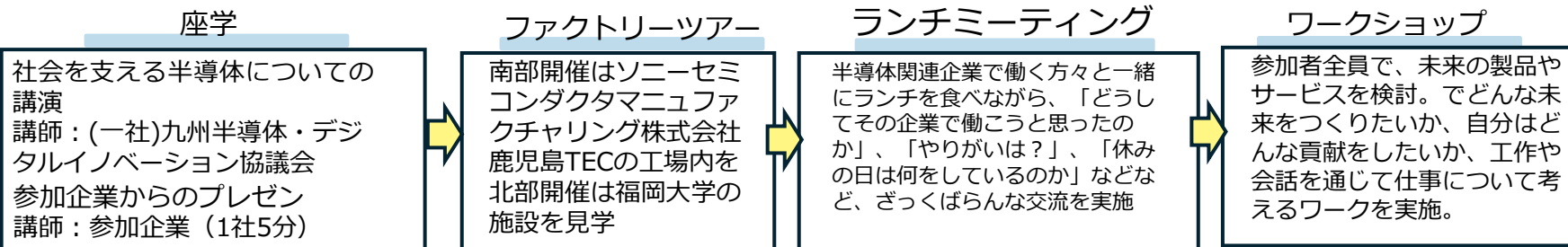
～実施段階におけるポイント～

人材育成WGの取り組み③（2024年度新規実施）

産学ミートアップ事業

進路選択前、就職先検討前の学生、教員、半導体関連企業が一堂に会し、「半導体が切り拓く未来」をテーマに、新たなビジネスアイデア創出ワークショップ、施設見学等を通じて交流し、半導体業界で働く魅力発信とイノベーションの種創出に繋げる。今年度は南部九州（2024年10月30日@SCK鹿児島TEC）、北部九州（2025年2月14日@福岡大学）の二カ所で実施。

プログラム（北部九州・南部九州開催共通）



施設見学の様子



ワークショップの様子

南部九州会場開催結果

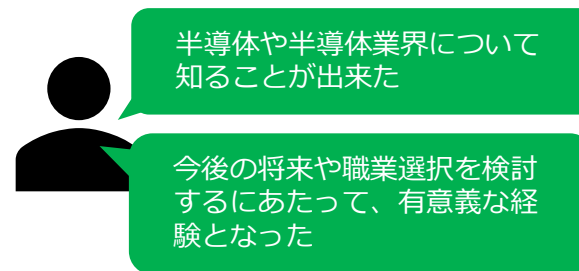
会場：ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社鹿児島TEC
日時：2024年10月30日10:00～16:30 参加者全43名（自治体参加者2名含む）
教育機関参加者：5校 教員等7名、生徒・学生15名- 鹿児島大学・第一工科大学・都城高専・鹿児島工業高校・水俣高校
企業参加者：7社 19名-旭化成マイクロテクノロジー・九州電子・くまさんメディクス・ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング・フェニテックセミコンダクター・藤田ワークス・マイクロカット

北部九州会場開催結果

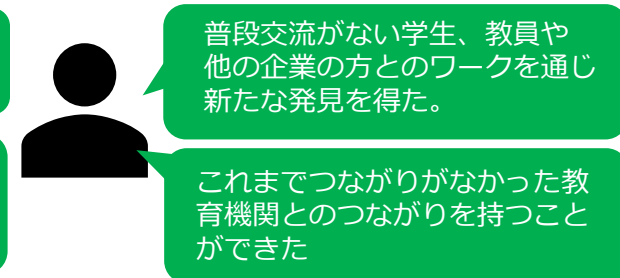
会場：福岡大学 5号館 2階 521教室
日時：2025年2月14日10:00～16:30 参加者全44名
教育機関：8校 教員等6名、学生13名 福岡大学、福岡工業大学、西日本工業大学、久留米工業大学、佐賀大学、大分大学、都城工業高等専門学校、長崎工業高校
企業参加者：10社25名 アスカコーポレーション、田中電子工業、デンケン、日清紡マイクロデバイスAT、平井精密工業、マイスティア、三井ハイテック、メルコセミコンダクタエンジニアリング、メルコパワーセミコンダクタチップ、メルコアドバンスデバイス

アンケート結果

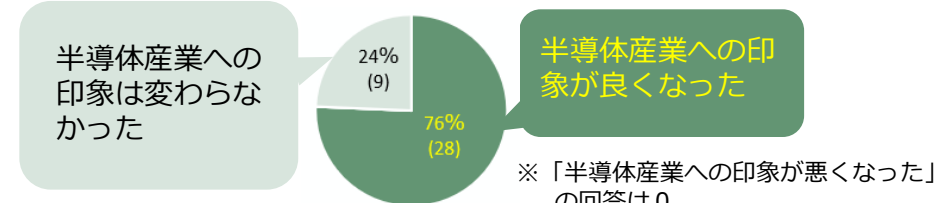
参加した感想（学生参加者）



参加した感想（企業参加者）



半導体産業に対する印象の変化（学生・教員）

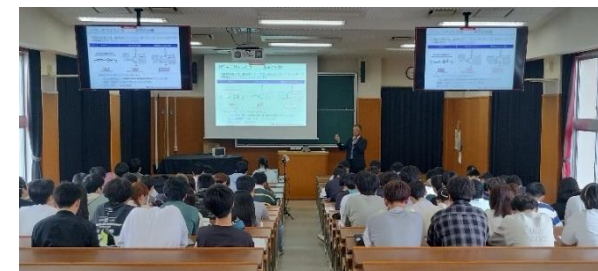


アンケート結果から、北部九州・南部九州ともに好評。次年度以降も継続したい。来年度は長崎・大分での開催を検討。継続にあたり、企業開催、企業の発表時間等PRの時間を増やす等の改善を行う。

産学連携出前講座

【実施内容】 佐世保高専

- ・ 講座名：半導体工学概論（前期） 半導体デバイス工学（後期）
- ・ 学習目標：①半導体の定義や基礎特性を理解し、説明することができる。
②半導体素子の種類や利用について理解し、説明することができる。
③半導体の製造に関する装置および方法を理解し、説明することができる。
- ・ 対象学科：機械、電気電子、電子制御、物質工学 4年生 選択授業（約80名が参加）



前期：半導体工学概論

回	開催日	内容	講師
1	5/7	ディスクリート（ダイオード、トランジスタ）	SIIQ
2	5/14	メモリー素子	SIIQ
3	5/21	集積回路（マイコン）	SIIQ
4	5/28	パワー半導体（パワーエレクトロニクス）	SIIQ
5	6/25	CMOSセンサー	SIIQ
6	7/2	光学素子（半導体レーザーなど）	SIIQ

受講生の満足度：96.9%

後期：半導体デバイス工学

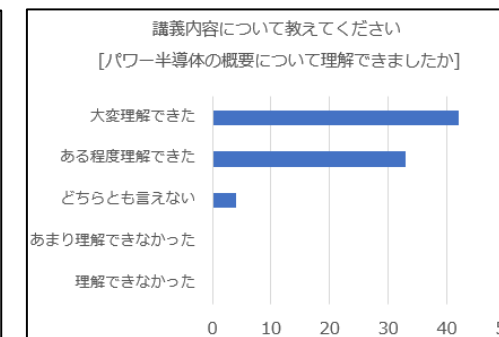
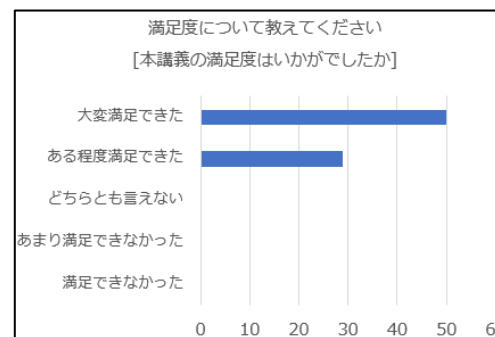
回	開催日	内容	講師
1	11/5	前工程プロセス①	SIIQ
2	11/12	前工程プロセス②	SIIQ
3	11/19	後工程①ダイシング・ダイボンド・ワイヤボンド	SIIQ
4	12/17	後工程②封止・特性検査	SIIQ
5	1/21	パッケージングと集積化技術	SIIQ

受講生の満足度：97.5%

【結果まとめ】

- ・ 今年で3年目の実施となり、過去の改善点を積み重ね効果的な出前講座が実施できている。
- ・ 受講される学生の意識も高く、自由討議では活発な意見交換が実施できている。
- ・ 半導体の現品サンプルを準備することが今後の課題。

※講座プログラムの基本型が完成できたと判断し、来年度以降はSIIQの会員企業様へ本講座を引き継ぐ予定。



佐賀大学での出前授業

【理工特別セミナー：半導体概論】

- ・実施日：9月5日
- ・参加者：理工学部学生：195名
一般聴講：22名



授業開始前と授業終了後のアンケート結果

- ①半導体に関心があるか？：受講後に**興味・関心が増した：88%**
- ②半導体企業で働きたいか？：非常にそう思う＋そう思う：67→80%に増加
- ③半導体の製造工程を知っているか？：知らない：**63→6%に激減**
- ④九州の半導体企業を知っているか？：知らない：**39→8%に激減**

受講生の声

- 半導体が私たちの生活でどのように役立っているのかがわかった。
- 九州の半導体産業は大いに将来性がある分野であるということを実感するいい機会でした。
- 半導体を専門としていない方にもわかるように説明してくださったので、内容を理解しやすかったです。
- 九州で半導体を活性化させようとしていることがよく分かった。

大分大学での出前授業

【半導体概論：半導体産業】

- ・実施日：11月19日
- ・参加者：理工学部学生：207名



授業終了後のアンケート結果

半導体に関心があるか？：85%

『理由』

- ・よく半導体に関するニュースを見ることがあるから
- ・九州には半導体メーカーの拠点多くあるため
- ・熊本に半導体の工場ができたり、他大学でも半導体に関連した学部設立の
がなされてたりと、最近よくこの単語を聞くようになったから

受講生の声

- 今までの授業と違い、企業側から見た半導体産業について聞くことができてよかった。
- 半導体がすべてのデジタル基盤であることがわかりました。
- 実際の企業に勤められた方の話を聞くのは非常に興味深かった。DX・GXに関連する話も多くあり、将来半導体にかかわりたいという意欲が芽生えた。

九州産業大学での出前授業

【九州の半導体産業について】

- ・実施日：11月12日
- ・参加者：電気工学科：80名



『授業終了後のアンケート結果』

- ・ここにも使っているのかと思うほど多くのところで使われていてとても興味深かった
- ・半導体がどのように使われているか授業の時よりもリアルでわかりやすかった
- ・身近な例を上げて丁寧に様々な専門知識を教えいただき、わかりやすく良かったです

受講生の声

- 日本の半導体業界の現状をよく知ることができ、興味を持てた
- 半導体の道に進むか迷っていたのでとても貴重な経験を語っていただけてとてもありがたかった
- 会社で失敗した話などとても参考になった。自分が就職したときにも自分の目で見て判断しようと思った。

福岡大学での出前授業

【注目されている半導体を
知ろう・学ぼう】

- ・実施日：11月22日
- ・参加者：物理化学科：18名
教員：4名



『授業終了後のアンケート結果』

- ・半導体がこれからの世界で必要であり、大きな役割を担っていることを知った
- ・半導体産業を発展させるための鍵を九州が握っていることを知り、九州の可能性を感じた。
- ・半導体は私たちの生活基盤になっていることが確認できた。

受講生の声

- 知識的に知っていたことは多かったが、実際に半導体に携わっている人からの話を聞いてより具体的なことがわかった。
- なんとなく九州が半導体産業に強いことは知っていたが、具体的な理由や原因を知ることができて興味が湧いた。
- 九州内の半導体企業の多さに驚きました

産学連携出前講座

長崎工業高校での出前授業

【半導体製造技術】

- ・実施日：9月5日
- ・参加者：工業科学科：26名
教員：4名



『学習目標』

半導体の社会における実用例を解説することで、デジタル社会における半導体の重要性を理解し、また九州地区における半導体産業の現状と今後の展望などを理解する。

受講生の声

- 学校の授業だけでは分からない現場の話が聞けて参考になった。
- 九州に半導体の企業がたくさんあることに驚いた。
就職先の選択肢が広がった。
- これからの社会において、もっと半導体が重要になっていくと感じた。
半導体の仕事をしてみたいと思った。

熊本工業高校での出前授業

【半導体概論：半導体産業】

- ・実施日：10月22日
- ・参加者：電子/電気/機械/
情報システム：180名



『学習目標』

半導体の社会における実用例や、半導体産業を活性化するための国の施策や九州半導体産業の現状などを理解する。

なお、電子科は熊本県内の工場見学も予定しており、見学後にSIIQによる出前授業も実施する。

※昨年度はこの工場見学がきっかけで県内企業への就職も実現した。

受講生の声

- 半導体について知っているつもりでしたが、講話を聞いて初めて知ることや、日本の半導体の現状について詳しく知ることができました。
- もともと半導体系企業に就職したいと思っていましたが、今回の講話を聞いてよりその思いが強まりました

人材育成WGの取り組み⑤

教員向け研修会

【実施内容と結果】

No	実施企業	実施場所	主な事業内容	実施日	実施結果
1	(株) くまさんメディクス	川辺工場 (第1,第2) (熊本県菊池市旭志川辺1061-5)	半導体製造装置の 設計/開発/製造	7月25日	参加者少のため中止
2	(株) アスカインデックス	半導体実務研修センター (熊本県水俣市丸島町3-5-1)	半導体デバイス受託/代行 半導体人材の育成	7月31日	参加者少のため中止
3	三菱電機 (株)	パワーデバイス製作所 (福岡市西区今宿東1-1-1)	半導体の設計/開発/製造 (主にパワー半導体)	8月6日	参加者：12名
4	(株) SUMCO	九州事業所 (伊万里・久原) (佐賀県伊万里市山代町久原1-52)	半導体用シリコンウエハの 製造/販売	8月21日	参加者：14名
5	日清紡マイクロデバイスAT (株)	(佐賀県神埼郡吉野ヶ里町立野950)	電子デバイス (半導体) 製品の製造	8月28日	参加者：13名
6	ソニーセミコンダクタ マニュファクチャリング (株)	本社 熊本テクノロジーセンター (熊本県菊池郡菊陽町原水4000-1)	半導体の設計/開発/製造 (主に画像センサー)	8月29日	台風接近のため中止

【結果まとめ】

- ・開催後のアンケートでは「非常に役に立った＋役に立った」の**評価合計が100%**との高い評価をいただいた。
- ・特に若手社員の方との意見交換会において、社会人になってからの視点での意見がとても参考になったとの声が多かった。
- ・開催時期について、見直すべきとの意見はほぼ無かった。



三菱電機



SUMCO

【来年度以降の改善方針について（案）】

以下の改善を図り、参加者増を目指す。

- ・開催期間の分散
- ・研修会対象者の拡大 例) 金融機関担当者、保護者
- ・開催場所の見直し



日清紡マイクロデバイスAT

半導体人材の育成・確保（人材育成WG）2025年度以降の活動方針

現状と課題（2022年度～2024年度事業において抽出）

- 産業界では、必要な人材が毎年1,000人程度採用できない状態が10年間続く見通し【22FY調査】
- 半導体産業への就職割合は約9%であり（うち約46%が九州域外に就職）魅力発信が重要【22・23FY調査】
- 半導体産業は、電気・電子に限らず幅広い理系の知識をもつ人材を必要としている【22FY調査】
- 理工系の新卒者を短期間で大幅に増やすことは困難（定員の壁、履修期間の壁）【構造的課題】
⇒ダイバーシティ推進が重要であるが取組は途上（女性比率26%、外国人比率2.3%、他産業からの流入人材比率16.8%）
のためダイバーシティ推進に向けた環境整備が必要【23・24FY調査】
- 九州内各地で人材育成・確保の取組が進展しており、連携を深めながらより効果的に取り組んでいくことが求められる

2025年度の主な活動方針（案）

① 実態把握・情報収集・調査

- 人材需給ギャップフォローアップ調査【継続】/構成機関における人材育成・確保の取り組み状況調査【継続】

② 半導体産業の魅力発信（理工系人材を増やす）

- 教員向け研修会【拡充】/産学ミートアップ事業【拡充】/半導体産業魅力発信コンテンツのアップデート【継続】

③ 半導体人材育成・確保（生涯の職業として半導体産業を選択する人材を増やす）

- 産学連携による出前講義の実施【拡充】/横断的教育の促進【拡充】/半導体人材育成サポートバンクの開設【新規】
- 産学連携による教育・研究環境の整備検討【新規】/ダイバーシティ推進に向けた環境整備支援の検討【継続】

④ 横断的な取組

- 「自治体サブWG」の設置【新規】

⑤ 諸外国・地域との連携

- 諸外国・地域との連携可能性検討サブWGの設置検討【継続・新規】

1. 実態把握・情報収集・調査①

●「人材需給ギャップ（フォローアップ）調査」の実施【2025年度（産業界）】

2022年度人材WG調査において、九州内半導体関連企業に対し半導体関連人材の人材不足や採用状況についての現状調査を実施。当該調査から3年が経過し、九州の半導体産業を取り巻く環境は大きく変化している。このため、最新の半導体関連企業の立地状況及び関連企業の人材不足や採用状況についての調査を改めて実施する。

（参考）2022年度人材育成WG調査結果概要

①九州の半導体産業における人材不足は、短期的にも中長期的にも年間1,000人程度になる見込み。

※アンケート調査（141社から回答集計）から、九州の半導体関連企業319社（事業分野別の延べ社数）を考慮して推計。詳細はP14～15参照。

※短期（1～3年）：2023年～2025年 中長期（4～10年）：2026年～2032年

②不足感が大きくなる職種は、短期的にも中長期的にもオペレーター、生産技術職がメインで、その他短期的には研究開発職となっている。

③半導体人材に求められるスキルとしては、しっかりとしたバックグラウンド（電気・電子、情報、機械、化学、材料、財務、経営など）を持っていること。加えて、研究開発職等のトップ人材に対してはプログラミングやEDA・CAD、材料系の工学ならびに実技・経験などが求められる傾向あり。

④産学連携が希薄になってきており、共同研究や委託研究の実施は2割程度、奨学寄付の実施は1割未満、設備の提供や研究協力は1割未満と低調。

⑤九州で半導体人材育成に取り組んでいる教育機関においては、下記の課題がある。

- ・半導体ユーザー企業の知名度が高く、半導体自体の魅力が浸透していない。
- ・半導体実習をするための施設がほとんどなく、また電気電子、機械、材料、化学等に渡る横断的半導体工学の教育機会が少ない。

⑥台湾では半導体企業が大学に資金、人材を投入し、企業・大学共同での研究開発、半導体即戦力を育成する教育システム（企業名教育講座、インターンシップ、奨学金等）を実施し、人材育成・確保で有効な成果を上げている。

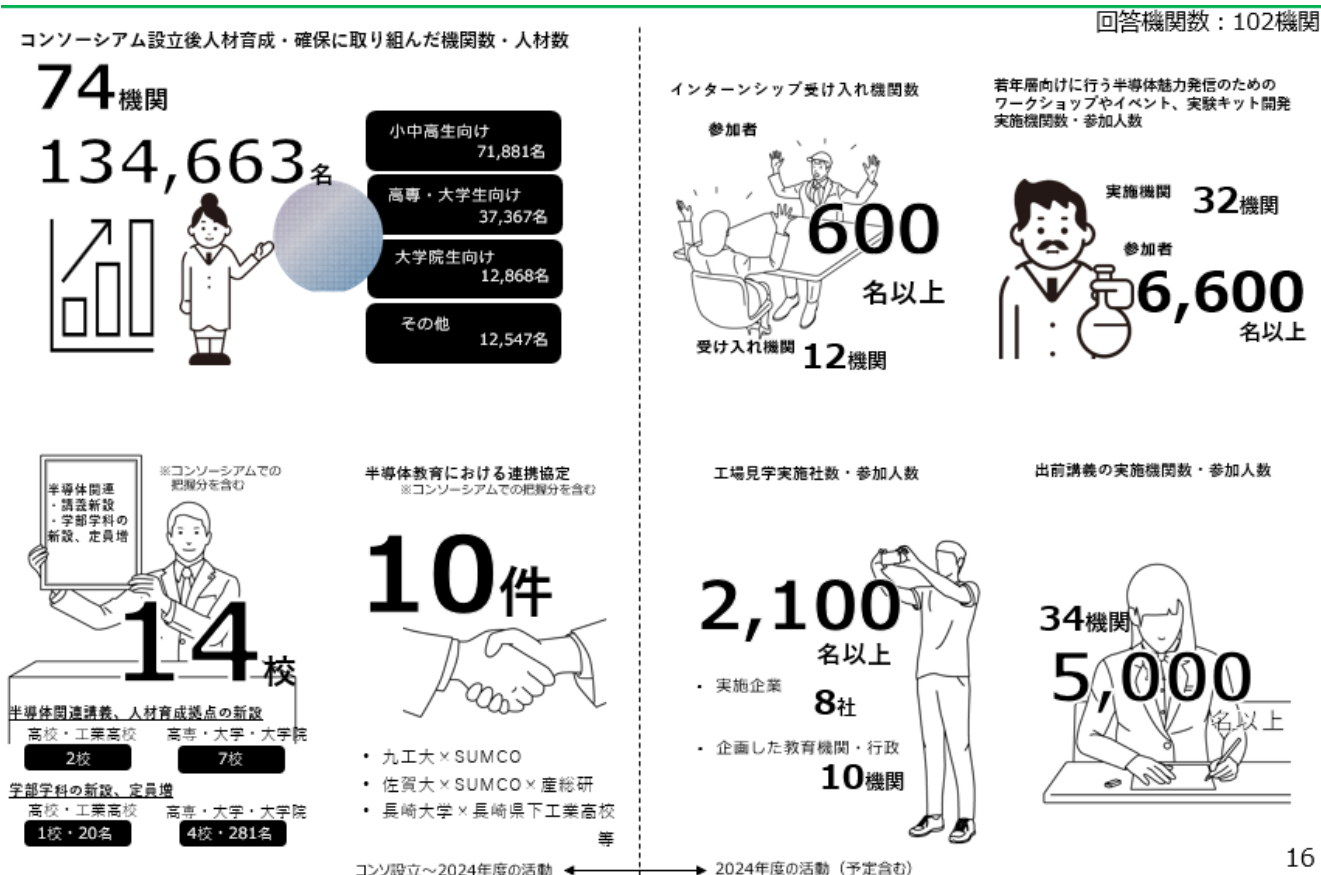


1. 実態把握・情報収集・調査②

●コンソーシアム構成機関における人材育成・確保の取り組み状況調査の実施【2024年度～】【継続】

2024年度人材WG調査において、コンソーシアム構成機関が実施する人材育成・確保の取り組み状況を調査。引き続き調査を実施、九州内の半導体人材育成・確保の取り組みを対外的に発信していく。

（参考）2024年度人材育成WG調査結果



2. 半導体産業の魅力発信（理工系人材の裾野拡大）①

●教員向け研修会【2022年度～】【継続】

人材を教育し、進路指導やアドバイスを行う等、学生の進路選択に大きな影響力を持つ教員を対象に、半導体関連企業において、卒業生との座談会も交えた、半導体研修を実施。

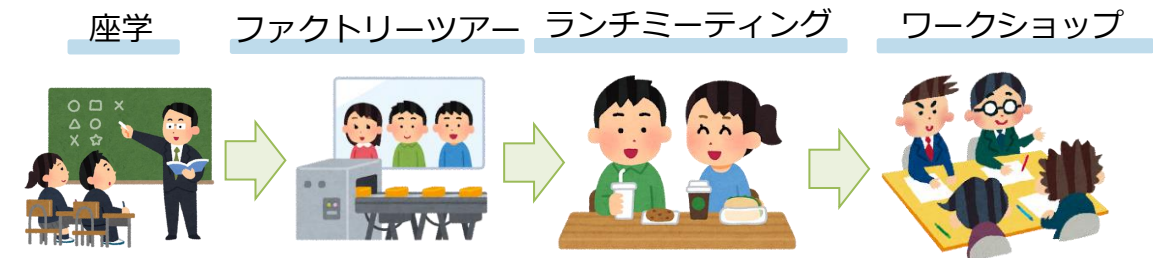
●産学ミートアップ事業【2024年度～】【継続】

半導体産業の魅力発信のため、進路選択前、就職先検討前の学生、教員、半導体関連企業が一堂に会し、「半導体が切り拓く未来」をテーマに、新たなビジネスアイデア創出ワークショップ、施設見学等を通じて交流。2025年度は九州東部（大分県）、九州西部（長崎県）での開催を検討。

教員向け研修会（2024年度実績）

N O	実施企業	実施場所	主な事業内容	実施日
1	(株) くまさんメディクス	川辺工場（第1,第2） （熊本県）	半導体製造装置の 設計/開発/製造	7月25日
2	(株) アスカインデックス	半導体実務研修セン ター（熊本県）	半導体デバイス受託/代行 半導体人材の育成	7月31日
3	三菱電機（株）	パワーデバイス製作所 （福岡市）	半導体の設計/開発/製造 （主にパワー半導体）	8月6日
4	(株) SUMCO	九州事業所（久原） （伊万里市）	半導体用シリコンウエハの 製造/販売	8月21日
5	日清紡マイクロデバイスAT （株）	（佐賀県吉野ヶ里町）	電子デバイス（半導体） 製品の製造	8月28日
6	ソニーセミコンダクタ マニュファクチャリング （株）	本社 熊本テクノロジー センター （熊本県菊陽町）	半導体の設計/開発/製造 （主に画像センサー）	8月29日

産学ミートアップ



施設見学の様子



ワークショップの様子

3. 半導体人材の育成①

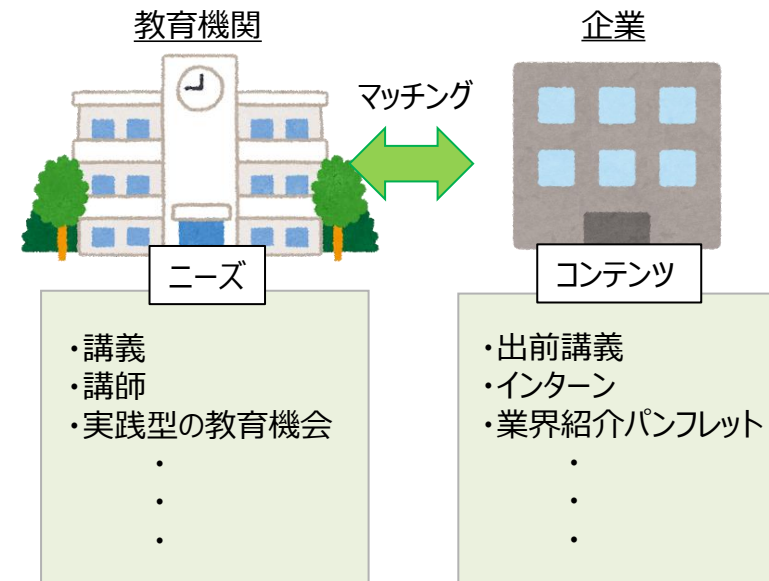
- **産学連携による「出前講座（高専・大学・大学院）」の実施、半導体横断的教育【2022年度～】【拡充】**
高校～大学の、電気電子工学科のみでなく、機械科などを含めた工学部や、理学部、文系学生も対象に**半導体の横断的教育カリキュラムを設計**。対象校を拡充して実施。
- **半導体人材育成サポートバンクの開設検討【2025年度～】【新規】**
 産業界が保有する教育プログラム（対外的に提供可能なコンテンツ）や講師（企業OB等を含む）
 教育機関側が持つ半導体関連の教育ニーズ（新たに整備・拡充したい講義等）を登録し、コンソーシアム内で共有・マッチングを図る仕組みを構築する。

半導体横断的教育

【実施例】佐世保高専における『半導体工学概論』プログラム

NO	実施日	講座名
1	5月7日	半導体デバイスの実用例Ⅰ：ディスクリート（ダイオード、トランジスタ）
2	5月14日	半導体デバイスの実用例Ⅱ：メモリー素子
3	5月21日	半導体デバイスの実用例Ⅲ：集積回路（マイコン）
4	5月28日	半導体デバイスの実用例Ⅳ：パワー半導体（パワーエレクトロニクス）
5	6月25日	半導体デバイスの実用例Ⅴ：CMOSセンサー
6	7月2日	半導体デバイスの実用例Ⅵ：光学素子（半導体レーザーなど）

半導体人材育成サポートバンク



3. 半導体人材の育成②

産学連携による教育・研究環境の整備検討

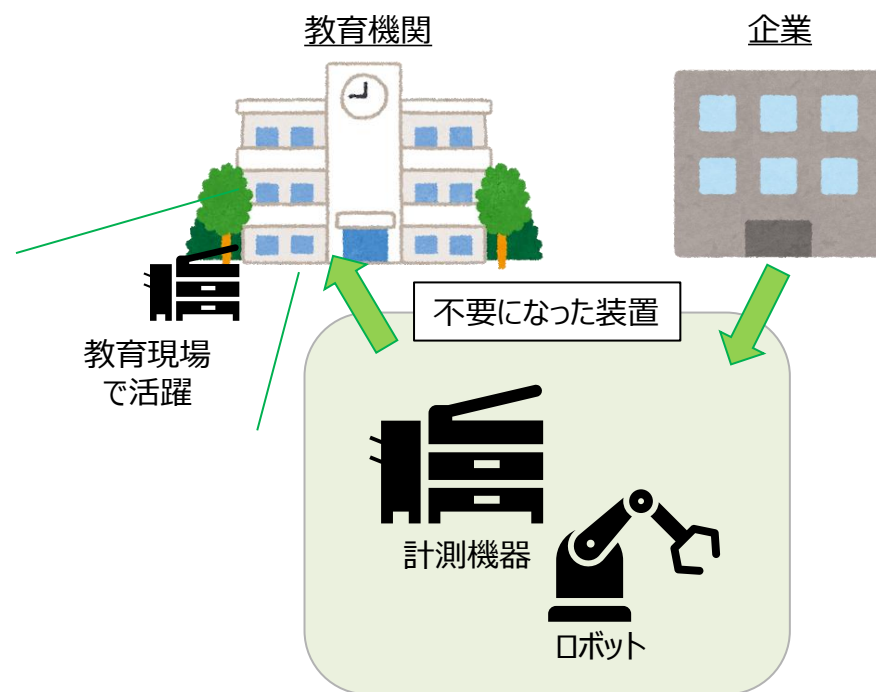
●教育環境整備のエコシステム構築（仮タイトル）【2025年度～】【新規】

企業が廃棄予定の装置類を教育機関に寄付する仕組みの構築検討

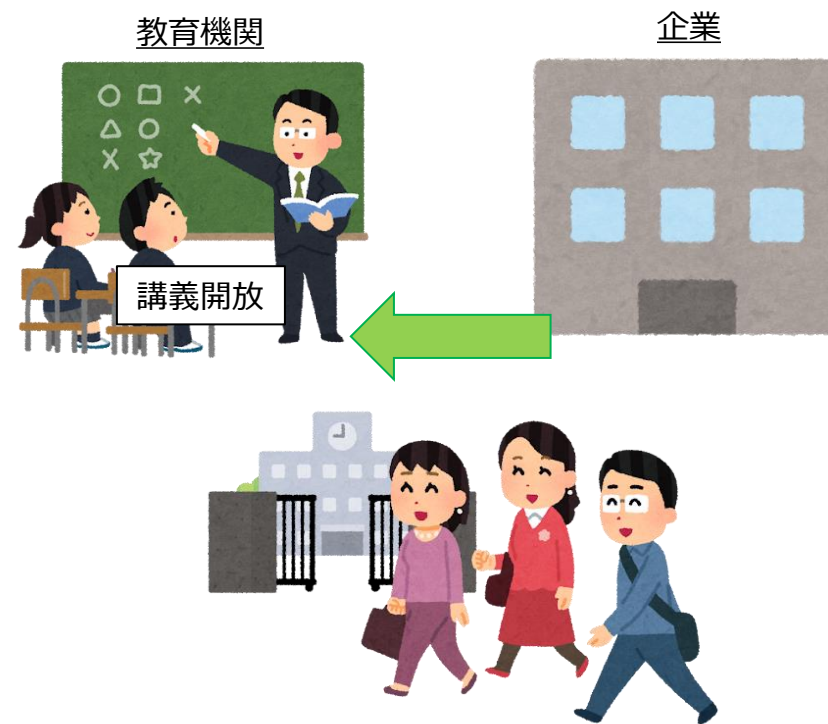
●教育機関での講義解放【2025年度以降～】【新規】

注）企業・教育機関ともにコンソーシアム構成機関を想定
企業の新入社員やリスキリング向けに、大学等教育機関の一部講義・施設を開放できないかを検討していく

教育環境整備のエコシステム



教育機関での講義開放



【参考】3. 半導体人材の育成②

●教育環境整備のエコシステム構築（仮タイトル）【2025年度～】**【新規】**

企業が廃棄予定の装置類を教育機関に寄付する仕組みの構築検討

田中電子工業の寄附事例

本来廃棄する予定だったワイヤーボンダーを大学に寄附

廃棄候補のワイヤーボンダー

- 新しく装置が導入されるため、使用しなくなる予定だったワイヤーボンダー。購入当時、ワイヤ開発や出荷検査用途で活躍していましたが、新型品の購入により装置の状態は良いものの使用用途がなくなり、廃棄予定となっていました。しかし、装置自体は故障等もなくまだまだ活用できるものでした。加えて汎用品であり、機密データはほとんど含まれておらず、まだまだ活用できる可能性を秘めていました。海外の拠点工場にも問い合わせをしましたが、残念ながらその装置に対する需要は見つかりませんでした。

運命の転換

- 廃棄を決意しようとしていたその時、ふと親会社の九州大学との共同研究を思い出しました。そこで、金谷先生の研究室にその装置を必要としているか尋ねてみることにしました。金谷先生からの返事は「ぜひいただきたい」と。

寄附のプロセス

- 寄附の手続きは意外にもスムーズでした。搬送費用や立ち上げにかかる費用は企業が負担することで合意し、寄附を進めることにしました。

ワイヤーボンダーの再生と教育への貢献

- 各種の調整には困難もありましたが、その甲斐あって、ワイヤーボンダーは新たな使命を帯びて、研究室の一員として息を吹き返すこととなりました。処分するには惜しい装置が、教育の場で貢献できる形に生まれ変わったのです。



寄附したワイヤーボンダー

4. 半導体人材の確保（生涯の職業として半導体産業を選択する人材を増やす）

- 構成機関が実施するUIJターンなどの人材マッチング支援事業への協力検討【2023年度～】【継続】
構成機関が実施するUIJターンなどの人材マッチング支援事業への協力検討
- ダイバーシティ推進に向けた環境整備【2024年度～】【継続】
ハード・ソフト両面での社内環境整備支援を検討（啓発・ノウハウ共有を中心に）

オンライン開催

参加無料

服装自由

履歴書不要

参加者募集

正社員雇用を中心とする

ジョブマッチング

✔ オンライン開催なので気軽に参加可能（配信はWebexを使用）

✔ 経験やスキル、働き方、世代などのテーマ別で開催するので効率的にマッチングできます！

✔ 参加企業より、自社の事業課題や求める人材像を具体的にお伝えします。

✔ 求人情報も掲載しているため、気になる企業にそのまま応募が可能です。

女性・女性管理職・外国籍人材

11/18 (土)

13:00~16:00

対象者【※】

- ワークライフバランスをとり働き続けたい方
- キャリアアップを目指す方
- 多様な考えや文化的背景を持つ人とのやり取りに楽しみたい方
- 留学生で、日本企業の海外展開をサポートしたいと考えている方 など

企業名【※】

- 半導体製造 半導体管理職 半導体開発 半導体営業
- 半導体製造 半導体管理職 半導体開発 半導体営業
- 半導体製造 半導体管理職 半導体開発 半導体営業
- 半導体製造 半導体管理職 半導体開発 半導体営業

モノづくり・半導体関連

12/2 (土)・1/13 (土)

いずれも13:00~16:00

対象者【※】

- モノづくり・半導体関連の経験がある方
- モノづくり・半導体関連の経験がある方
- モノづくり・半導体関連の経験がある方
- モノづくり・半導体関連の経験がある方

企業名【※】

- 半導体製造 半導体管理職 半導体開発 半導体営業
- 半導体製造 半導体管理職 半導体開発 半導体営業
- 半導体製造 半導体管理職 半導体開発 半導体営業
- 半導体製造 半導体管理職 半導体開発 半導体営業

特設サイト

<https://diversity.kyushu.meti.go.jp/regular-employee/>

本イベントに関する詳細情報ならびに申込方法などは、下記ホームページまたは二次元バーコードよりご確認ください。

お問い合わせ先

リクルーティング・パートナーズ株式会社

〒810-0001 福岡市中央区天神2-3-25 天神 ZEROビル5F

(TEL) 0120-946-059 (受付時間 平日 10:00~18:00 (※) 9:00~17:00)

(E-mail) kksa@3140pa.com (メール受付は3140pa.com)

【本事業に関するお問い合わせ先】九州経済産業局 地域経済課 産業人材政策室 (TEL) 092-482-5504 (E-mail) kyushu-jinzai@meti.go.jp

【個人情報の取扱い・利用目的について】お申し込みいただいた個人情報は、事務局(九州経済産業局、リクルーティング・パートナーズ株式会社)において、本イベントの運営に必要とする事業目的の達成のために利用いたします。また、ご提供いただいた個人情報は、その提供について方法を問わずに、ご本人の同意なしに事務局以外の第三者へ開示、提供することはありません。

九州経済産業局

本事業は、経済産業省の政策事業「令和5年度九州経済産業局における地域中小企業・小規模事業者の人的資源支援等事業」として実施するものです。

(連携例) 九州経済産業局 産業人材室との連携

(参考) 経済産業省 経済社会政策室による啓発

22

5. 横断的な取組

●自治体サブWGの設置検討【2025年度～】**【新規】** ※サプライチェーン強靱化WGと合同

九州半導体人材育成等コンソーシアム設立から3年が経過。九州内自治体においても、「半導体人材育成・確保」、「サプライチェーン強靱化」、「海外との交流促進」等の取組が自立的に進んでいる。

こうした取組が進展・拡大する中で「各地域の取組を横展開するなど、より効果的に取り組んでいくべき」「各自治体共通で使えるコンテンツを作って欲しい」といったコンソーシアムへのご要望をいただいている。これらの要望を踏まえ、各取組をより効果的に進めていく場として自治体の皆様にもコンソーシアムを活用頂くべく、2025年度～自治体サブWGの設置検討を行う。

開催目的

九州半導体人材育成等コンソーシアムの構成機関自治体同士の情報共有の場を設け、九州における「半導体人材育成・確保」「サプライチェーン強靱化」、「海外との交流促進」の取り組みの更なる進展・拡大の一助として頂く。

想定する議論の内容

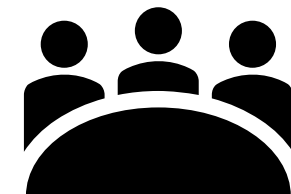
各自治体の取組紹介、地域をまたいだ取組（連携可能性）の検討、コンソーシアムへの要望、取り組みを進めるうえでの課題感やそうした課題への過去の対応例の共有

参加者

九州半導体人材育成等コンソーシアム構成機関の自治体担当者
（人材担当のみではなく、商工や企業立地関係部署も含む）

開催回数

準備会合（3/19）自治体サブWG（案）についての意見出し
年間3回程度：第1回（5月中旬）、第2回（8月上旬）、第3回（12月下旬）



2025年度人材育成WG 事業スケジュール（案）

		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
コンソーシアム全体会合				第7回	第8回
人材WG	実態把握 情報収集 調査		WG① 構成機関における人材育成・確保の取り組み状況調査 半導体人材需給ギャップ（フォローアップ）調査	WG②	WG③
	半導体産業の魅力発信		教員向け研修会 産学ミートアップ	教員向け研修会	産学ミートアップ
	半導体人材の 育成・確保		出前講義・横断的教育 実施 「半導体人材育成サポートバンク」の開設検討 産学連携による教育・研究環境の整備検討（エコシステム構築・講義開放）		運用開始
横断的な取組	自治体サブWG （人材/商工/企業立地 担当等）		WG①	WG②	WG③
諸外国・地域 との連携	諸外国・地域との連携 検討サブWG	WG①	WG②	WG③ ベトナムミッション（検討）	

取組	アウトプット	アウトカム
1. 半導体人材需給ギャップ（フォローアップ）調査 （対象：産業界）	九州域内半導体関連企業で不足する人材数の把握	半導体人材育成施策の方向性検討
コンソーシアム構成機関における人材育成・確保の取組 状況調査	九州半導体人材育成等コンソーシアム構成機関の半導体人材育 成・確保に関する取組を発信	対外的な発信を通じた、九州地域への関心度向上
2. 教員向け研修会	高校～大学の教員参画	教員の半導体産業に対する理解度向上 人材の半導体業界に対する関心向上
産学ミートアップ	半導体に係る産学（学生含）の相互理解促進 新事業となりうるアイデアの創出支援	半導体業界について実感値を伴った理解促進、教 育における産学連携の促進
魅力発信コンテンツのアップデート	半導体業界において活躍する多様な人材のロールモデルやキャ リアパスをより深掘りし発信	半導体業界の人材需給ギャップ解消
3. 産学連携出前講座/半導体横断的教育の促進	幅広い生徒・学生に対する半導体横断的教育機会の提供	半導体業界への就職希望学生の増
「半導体人材育成サポートバンク」 産学連携による教育・研究環境の整備検討	各企業が保有する人材育成に関するコンテンツと各教育機関の ニーズをとりまとめ。マッチング可能な情報を一元的に集約	半導体人材育成に係る教育環境の整備
4. 自治体サブWG	コンソーシアム構成機関自治体間のネットワーク構築	九州域内での効率的な人材育成実施
5. 諸外国・地域との連携検討（サブWG設置）	ベトナム等の諸外国との半導体人材育成に係る連携検討	広域連携による効果的な半導体人材育成の実現